

2 研究の成果と課題 (2/22(水) 報告会より)

① 国語

小中共通の課題

文章の読み取り—今年度は読みに重点を置き研究を進める。

サブテーマ：

「読むことの学習を通して自分の考えをもち表現する力を高める
児童・生徒の育成」

3つの手立て

- (1) 主体的な読みを旨とした課題設定や発問の工夫
- (2) 読みを深めるための話し合い活動（交流）
- (3) 個に応じた指導と評価の工夫

研究授業—小学校の実践

- ・ 読みを深めるための工夫＝一人が書いた文章を4人グループで確認し、その文章を参考に考えを広げたり、深めたりする。

中学校の実践

1年文学的文章の読み取り

- ・ 話し合い活動を通じて読みを深める。
- ・ 班の考え方を出し、全体で共有する。
- ・ 全体での共有を踏まえて自分の考えを再構築する。

2,3年生では説明文と論説文の読み取り

個人の読み取りよりも、交流を通じて同じ課題を考えることで読みが深まっていた。

成果

- ・ 個人の考えを広げたり深めたりすることができるようになった。
- ・ 個人では考えることのできなかった児童・生徒が考えを引き出す機会となった。

課題

- ・ 意見交流がより活発になるための話し合いの仕方
- ・ 話し合う必然性の課題提供
- ・ グループ編成の工夫



小学校の様子



中学校の様子



② 社会

資料の共有・活用で連携

※栗島小と栗島中の近さから...
⇒地球儀や掛け地図など揃えにくい教材を貸し出しやすい。



1

資料の共有・活用で連携

※義務教育終了段階で身につけるべき力の基準
＝都立高校の学力検査
⇒資料を読み取り、考察することが求められる
↓
小・中を通した9年間で培う必要がある

2

中学校での授業分析

※中学校の授業...
・時差の問題が分からない
・世界の国の位置、距離、方角
↓
なかなか定着していない。



3

研究授業に向けて

『地図が読めない・地図を読まない...』という現状

⇒地図を読むためには、資料に親しみ、その特性を知る必要がある。

地図や資料を心理的に身近なものにすることが重要！！

4

資料としての特性とは？

地球儀...地形、面積、方位、距離が正確だが、一度に世界全体を見渡せない。
地図...世界全体を一度に見渡せるがゆがみが出るため、地形、面積、方位、距離などをすべて同時に把握できない。



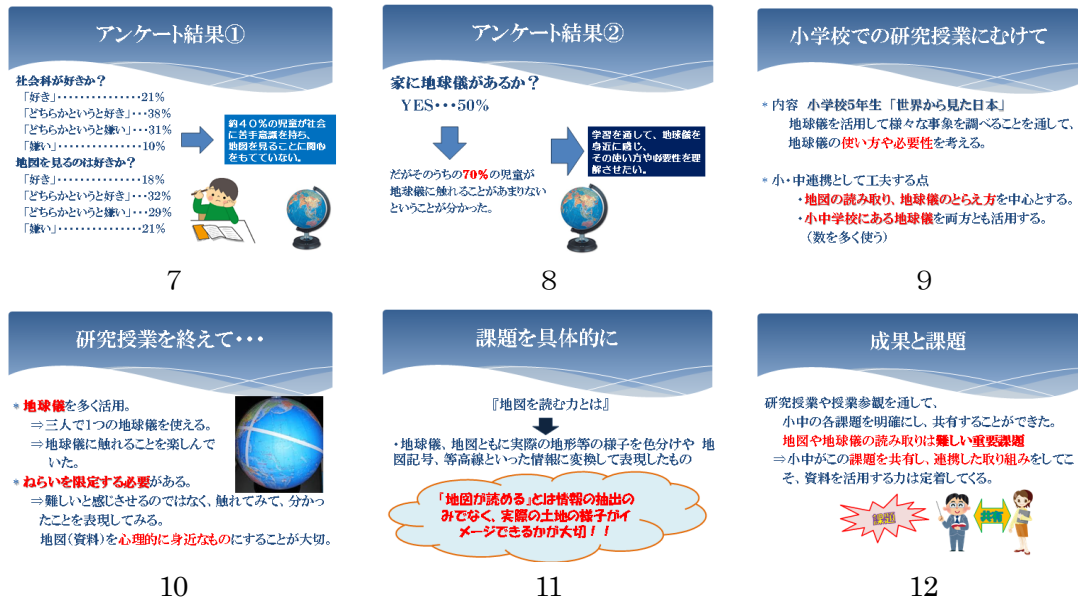
5

小学校の研究授業にむけて

・地図に関するアンケートをとる。
・地球儀の活用をする。

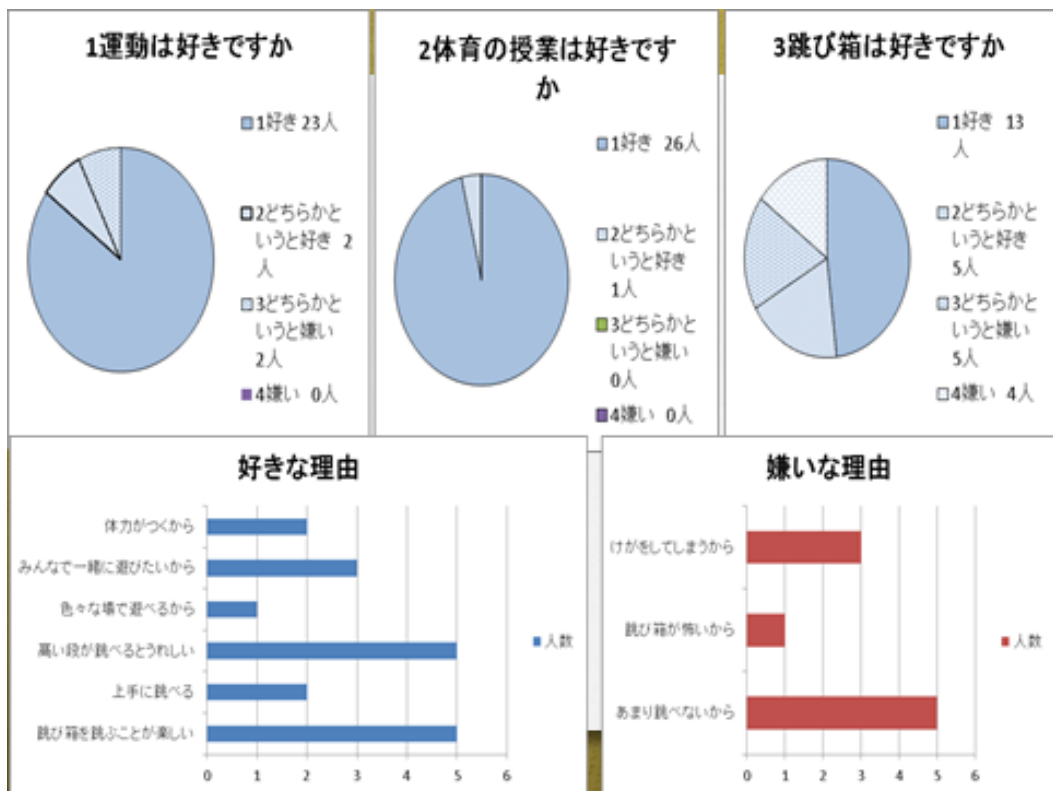


6



③ 体育

栗島小学校の体育跳び箱遊びにおける児童の実態



アンケート調査の結果から

跳び箱を楽しむことをねらいとして

- ① 「ねこちゃん体操」
- ② 準備の仕方
- ③ いろいろな場の設定

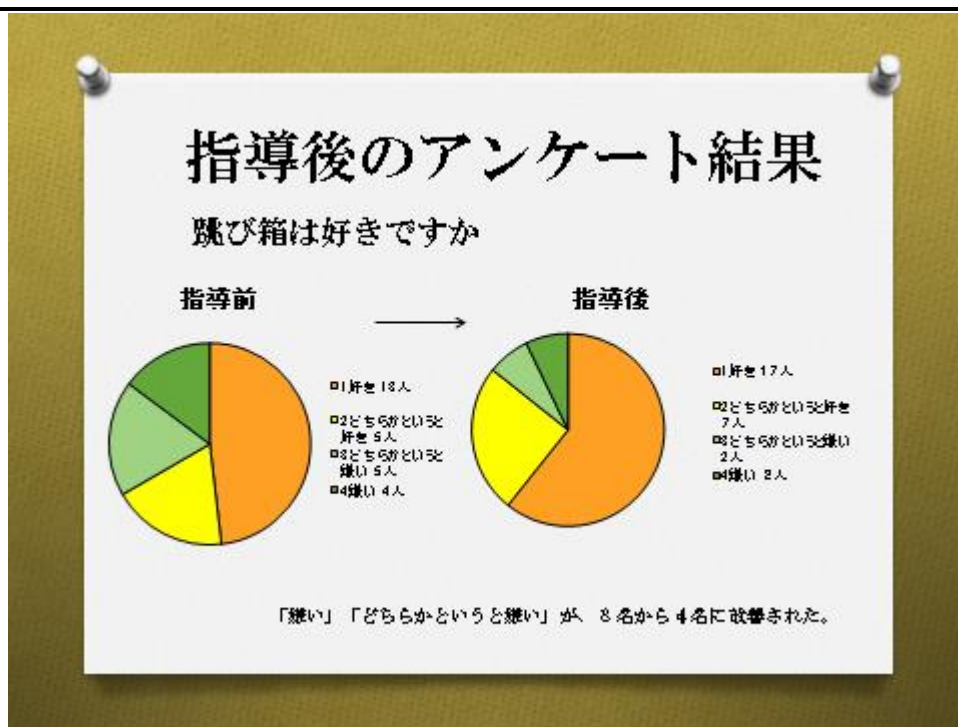
場の設定

- ① うさぎジャンプ
- ② またぎ乗り
- ③ 抱え込みジャンプ
- ④ 踏み越しジャンプ
- ⑤ 前転がり

研究主題に迫るための手立て

- ① 場の工夫
- ② 掲示物の工夫
- ③ ワークシートの工夫 (学習カード)





授業の成果と課題

成果

- ・ 跳び箱に対する苦手意識の改善が見られた。

課題

- ・ 指導途中での自己評価を取り入れて、授業の後半につなげる。

まとめ

- ・ 動機付けや目標を設定することで、児童・生徒に主体性を身に付けさせることができる。

④ 理科

実験が少ない動物单元において、話し合い活動を取り入れ、生徒が主体となって授業を進める方法を模索する。

単 元 名：無セキツイ動物

単元の目標：からだのつくりの特徴から無セキツイ動物をいくつかのグループに分ける。

指 導 方 法：動物の写真が印刷されたカードを使い、班毎にグループ分けをする。

成果

- ・ 生徒自身が考えることで、科学的思考を養うことができた。
- ・ 生徒全員が作業に加わる事ができていた。

課題

- ・ 自分たちの考えを発表する力をもっと養っていく必要がある。
- ・ 今後は主体性に加え「共働」が重要になってくる。生徒と教員、生徒と生徒のコミュニケーション能力を育てていく必要がある。



⑤ 英語

サブテーマ：小学校外国語活動から中学校英語へのスムーズな移行を目指した連携
今年の取組

- ・ ゲームや活動を通して、生徒（児童）が自分で考えて動く場面を多く設定する。
- ・ 11月の公開授業へ向けて、指導案の検討と意見交換を行う。

平成28年度連携の成果

小学校の成果

- ・ 中学の先生を身近に感じられた。
- ・ 実際の体験に近づけて児童が自分で考えて動くことができた。

中学校の成果

- ・ 小学生の英語習熟度が分かり、中学校の指導改善につなげることができた。

今後の課題

- ・ 小中の教員の情報交換を行って指導内容を知り、お互いの授業改善につなげていく。
- ・ 中学校の教員とふれ合い、授業を知る機会を作る。



⑥ 音楽

サブテーマ：音楽科における、リーダーの育成

<小学校>

- ・ 授業でのグループ活動でのリーダー
- ・ 金管クラブなどでのパートリーダー等

小学校での実践

①グループリーダーと音楽リーダーの設置

★グループリーダー・・・グループをまとめるリーダー

♪音楽リーダー・・・グループの音楽指導をするリーダー

②金管クラブのパートリーダー・ミニリーダー

*パートリーダー・・・パートに一人、パートの練習を進める。

*ミニリーダー・・・経験者全員、初心者に教える。

③授業での問題解決

自分たちの音楽表現を振り返り、課題や解決方法を考える。

成果

小：それぞれのリーダーが行うことを明確にしたことで、グループ活動が円滑に進み、音楽技能が向上した。

中：リーダーを中心に意見を出し、練習するようになってきた。自分たちの表現を振り返るようになってきた。

課題

小：高学年になると時数の関係上、一斉授業の時間が増え、グループ活動が確保できず、どのようにリーダーを活躍させるか、考えていかなくてはならない。

中：曲想などの表現の部分を考えて、パート練習を進めることに課題がある。

<中学校>

- ・ 合唱練習のパートリーダー
- ・ 部活動でのパートリーダー等

中学校での実践

①合唱授業でのパートリーダーの育成

パートリーダー・・・声のよく出る子、メロディを早く覚えられる子

10月26日(水) 2年1組実践授業

パートリーダーを中心に、各パートの役割を考える。

↓

歌唱表現に生かしていく。

⑦ 算数・数学

算数・数学科として

- 1 課題を児童の身近なものに関連づけたい。
- 2 必要最低限の知識だけを与えて課題に取り組ませたい。

研究授業(公倍数)では・・・

導入で、あえて教科書の演習問題を行った。

演習問題

「リサイクルしておもちゃを作ろうと思います。

工作であまった、たて6cm、横8cmの長方形の紙を同じ向きにしきつめて、教室の机でも遊べるような、『できるだけ小さい正方形』のオセロ盤(ばん)を作ります。

しきつめ終わってできた正方形の一辺の長さは、何cmにすればよいでしょうか」

成果

- (1) 教員の予想を超える、多様な思考を引き出すことができた。
- (2) 教員にとっても来年度以降の指導における財産となった。

小中それぞれの課題

- ・ 小学校では指導計画に忠実に沿うだけでなく 指導する順番など工夫することが大切
- ・ 中学校では生徒が発表しやすい雰囲気つくるのが課題

来年度に向けて・・・

小中ともに、知識から入るのではなく、考えさせることから授業に入っていくことも、多く取り入れていきたい。

⑧ 図工・技術

サブテーマ：道具の使い方に関する連携「児童・生徒の主体性を生かした授業の改善」に向けて

- ① 具体的な目標・授業の流れの明確化。小・中で共通する道具
- ② 多様な「提示方法」
- ③ 考えるための「ヒント」



両刃のこぎり



げんのう



さしがね

⑨ 保健

サブテーマ：歯科保健

課題①

足立区はむし歯のある児童生徒の割合が高い。

小学校はほとんどが最下位に近い。中学生は、10位以内

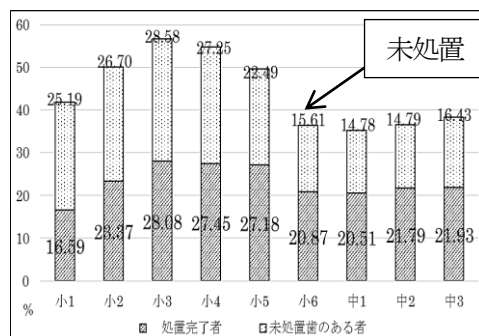
小1から中3のむし歯発生率

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
割合	41.77%	50.08%	56.66%	54.70%	49.67%	36.48%	35.28%	36.58%	38.36%
	(22位)	(23位)	(23位)	(21位)	(23位)	(17位)	(9位)	(10位)	(8位)

() は 23 区 の 順 位

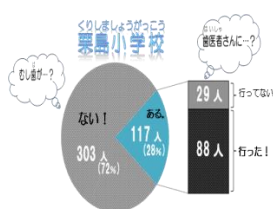
課題②

むし歯を放置している児童生徒が多い。

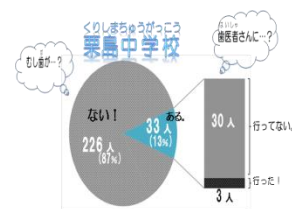


取り組んだこと①

小中でむし歯保有者と歯医者受診者の比較をした。



むし歯保有者
栗島小=117人 28%
栗島中=33人 13%



歯科受診者数
栗島小=88人
栗島中=3人

取り組んだこと②

小中で同じほけんだよりを作成し、発行した。

その他
特記事項

特になし